



2020年
1月15日
No.A19-09

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2019年12月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

- ・12月3日(火)、山内 昌之 東京大学名誉教授・武蔵野大学特任教授・中東調査会常任理事「勝者なき戦争-中東最新情勢-」(於：ザ・オークラ東京)



<要旨>

冒頭、6月の安倍首相によるイラン訪問、中東の海域における日本の安全保障をめぐる現状を概説した。そのうえで米国や中国といった域外諸国が、シリア紛争やイスラエルの安全保障など中東地域の情勢に与える影響について説明した。質疑応答では、カタール断交の展望などについて質問があった。

(2) 中東を知るセミナー

- ・12月11日(水)、研究員 青木健太「アフガニスタン政治の推移、特徴、展望～迷走する2019年大統領選挙と和平プロセス～」(於：フォーリン・プレスセンター)



<要旨>

アフガニスタンにおける治安情勢、及び邦人殺害事件の周辺状況等について解説した。また、先行きが不透明な2019年大統領選挙と和平プロセスをこれまでのアフガニスタン政治・和平の推移から分析するとともに、その特徴、及び今後の展望を報告した。質疑では、和平プロセスの今後の見通し、日本の対アフガニスタン支援、内政動向等に関する質問が出た。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2019年12月号(2020年1月15日付)
- 1. イスラエル：再々選挙が決定
- 2. イラン：ロウハーニー大統領訪日の成果と課題
- 3. カタール：周辺国との関係改善は一進一退
- 4. トルコ：リビアへのトルコ軍部隊派遣を表明
- 5. リビア：GNA・トルコ軍事海洋合意を巡る地

域対立

6. レバノン：カルロス・ゴーン氏が日本から密航

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

・No.12 「「イスラーム国」の犯行声明の信頼性が揺らぐ」(12月4日)

・No.13 「「イスラーム国」は中村医師殺害事件に反応せず」(12月6日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(3) 中東かわら版の発行

No.148 「アフガニスタン：大統領選挙暫定結果を巡る抗議デモの発生」(研究員 青木健太、12月2日)

No.149 「イラク：アブドゥルマフディー首相が辞任」(主席研究員 高岡豊、12月3日)

No.150 「アフガニスタン：邦人の被害を含む治安事案の発生」(研究員 青木健太、12月4日)

No.151 「アフガニスタン：邦人の被害を含む治安事案の発生#2」(研究員 青木健太、12月4日)

No.152 「サウジアラビア：サウジアラムコがIPOの売出株価を発表」(研究員 高尾賢一郎、12月6日)

No.153 「アフガニスタン：ターリバーンが中村医師殺害事件への関与を改めて否定」(研究員 青木健太、12月9日)

No.154 「GCC：サウジ・カタール関係に具体的な進展見られず」(研究員 高尾賢一郎、12月12日)

No.155 「レバノン：抗議行動が原因で歳入が激減」(主席研究員 高岡豊、12月17日)

No.156 「アルジェリア：大統領選挙でアブドゥルマジード・タブーンが勝利」(研究員 金谷美紗、12月17日)

No.157 「クウェイト：サバーフ・ハーリド・サバーフ新内閣の発足」(研究員 高尾賢一郎、12月18日)

No.158 「イラク：首班指名が迷走」(主席研究員 高岡豊、12月18日)

No.159 「イラン：ロウハーニー大統領の訪日」(研究員 青木健太、12月23日)

No.160 「アルジェリア：ガーイド・サーリフ副国防相兼参謀総長が死去」(研究員 金谷美紗、12月24日)

No.161 「アフガニスタン：大統領選挙が過去最低の投票率を記録」(研究員 青木健太、12月25日)

No.162 「イラク：「革命」の進行と広がり」(主席研究員 高岡豊、12月25日)

No.163 「サウジアラビア：カシヨギ氏殺害事件の幕引きを図る」(研究員 高尾賢一郎、12月27日)

No.164 「トルコ・リビア：軍事・海洋境界合意による東地中海諸国の対立」(研究員 金子真夕・金谷美紗、12月27日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(4) その他の活動

・12月10日(火)、トルコ大統領首席補佐官兼大統領府安全保障・外交政策委員会委員のイルヌル・チェビッキ氏が来訪し、当会の研究員らと意見交換を行った。



- 12月23日(月)、バハレーンの研究者・元国会議員のフセイン氏が来訪し、当会の浅子副理事長と意見交換を行った。



3. その他

(1) 要人往来

- 2日、茂木外相は訪日中のサウジアラビアのジュベイル外務担当国務大臣と会談した。
- 3日、茂木外相は訪日中のイランのアラーグチー外務事務次官の表敬を受けた。
- 3日、安倍首相はイランのロウハーニー大統領の特使として来訪したアラーグチー外務事務次官の表敬を受けた。
- 13～16日、河野防衛大臣はカタルを訪問し、ドーハ・フォーラムに出席した。また、ヨルダンでアブドゥラー2世国王を表敬した。
- 19日～22日、鈴木外務副大臣は、イスラエル、レバノン、パレスチナ、ヨルダンを訪問した。

- 20日、安倍首相はイランのロウハーニー大統領と会談した。

(2) 外務省人事

- 12月3日(火) 退職
国連政府代表部大使 別所 浩郎
英国大使 鶴岡 公二
クウェイト大使 足木 孝
- 12月6日(金) 発令
軍縮会議代表部大使 小笠原 一郎
- 12月13日(金) 発令
経済協力開発機構代表部大使 岡村 善文
- 12月17日(火) 発令
モロッコ大使 篠塚 隆

4. 今後の予定(1月)

- 1月20日(月)、15:30～17:30、於：日本記者クラブ「会見場」、国際情勢シンポジウム(「自由で開かれたインド太平洋」と中東—港湾開発、連結性、地域秩序への含意—)、ジャガナート・パンダ・インド国防問題研究所(IDSA)東アジア研究センター長、鈴木均 JETRO アジア経済研究所上席主任研究員、笠井亮平 岐阜女子大学南アジア研究センター特別研究員、ティトリ・バス IDSA アソシエート・フェロー、ファルハード・タギーザーデ・ヘサーリー 東海大学准教授、研究員 青木健太)
- 1月29日(水)、8:30～10:00、於：ザ・オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、朝食会(秋葉 剛男 外務事務次官「2020年の日本外交の展望」) *法人会員限定
- 1月31日(金)、14:00～15:30、於：日本記者クラブ「会見場」、中東情勢講演会(八塚 正晃 防衛研究所研究員「中国が中東に進出する背景：軍事的関与を中心に」)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更

になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。